

# 生き延びるために



## 災害に備えて今できること

災害が発生すると、電気やガス、水道などの供給停止や、道路の陥没、電話などの通信手段が途絶えてしまいます。

災害発生から数日間、救助や支援助資の供給など、行政や関係機関からの助け「公助」まで時間がかかるおそれがあります。その間、生きるためには、自分の身を自分の努力によって守ること「自助」、身近な人たちがお互いに助け合うこと「共助」に頼らざるをえません。

いつ起こるか分からない『災害』から、『生き延びるために』あなたは、日ごろから何か備えていることはありますか。

## 自助…自分の身は自分で守る

下表図は、平成25年4月実施のまちづくりアンケート（市

民16歳以上3千人を無作為選出）結果です。「あなたの家庭では、災害に対してどのような備えをしていますか」の問いに、ラジオ・懐中電灯、次いで保存飲料水、ローソク・燃料という回答が多

くありました。その他の回答では、車の中にいつも寝袋、自家発電、耐震補強などの回答がありました。一方では、何もしていない、特にしていないとの答えもありました。

まずは「自分の身は自分で守る」こと。災害に関する知識を身につけ、備蓄品の用意や非常時持ち出し品の確認など、いざというときに備えておきましょう。

家庭では、災害に対してどのような備えをしていますか（複数回答）

1. 消火器	512	(36.1)
2. 保存飲料水	778	(54.9)
3. 保存食品	600	(42.3)
4. 非常用持出袋	398	(28.1)
5. ラジオ・懐中電灯	1,214	(85.7)
6. ローソク・燃料	744	(52.5)
7. 救急セット	429	(30.3)
8. 家具転倒防止策	352	(24.8)
9. 災害時の連絡方法等を家族で決めている	305	(21.5)
10. 災害時の避難場所を知っている	567	(40.0)
11. 住宅用火災報知器の設置(自動火災報知設備を含む)	293	(20.7)
12. 防災(難炎)製品(燃えにくいカーテン、じゅうたん等)	66	(4.7)
13. その他	31	(2.2)
14. 無回答	38	(2.7)
合計	6,327	(446.5)
回答者数	1,417	(100.0)

## 共助…地域の力で守る

被害を最小限に抑えるために、災害発生直後の助けは、地域の力によるところが大きく、共に助け合うことが必要となります。

阪神・淡路大震災の際、建物・家具の下敷きや生き埋めになつて救出された人のうち、約67%が自力で、あるいは家族に助けられたといい、約30%は友人、隣人や通行人に救助されたという調査結果があります。一刻を争うような災害直後の救助は、周りにいる人にしかできません。日頃から地域の防災訓練などに参加しましょう。地域とのつながりを持つことで、互いの情報交換の場にもなります。訓練を活かし地域の力で助け合ひましょう。

## 3・11の教訓を忘れないで

災害はいつ、どこで起こるかわかりません。さまざまな形で私たちに襲ってきます。

避難経路や安否確認など、この機会に家族と話し合ってみましょう。東日本大震災の教訓を風化させることなく、みんな生き延びるために防災活動に取り組みしましょう。



## ■災害用伝言ダイヤル (171)・災害用伝言板 (Web171) を覚えておきましょう

地震等の災害発生時には、被災地の方の安否を気遣う通話が増加し、電話がつながりにくくなります。安否情報の確認に提供されるのが「災害用伝言ダイヤル」と「災害用伝言板 (Web171)」です。

「災害用伝言ダイヤル」は、電話回線を利用した声の伝言板で、安否情報などの録音と再生ができます。

「災害用伝言板 (Web171)」は、パソコンや携帯電話などのインターネットを利用した伝言板で、安否情報と100文字以内のメッセージの登録と確認ができます。

また、「災害用伝言板 (Web171)」のほか、携帯電話各社が提供する災害用伝言板サービスもあります。

※「山武市防災情報 (津波ハザードマップ)」にも安否情報の確認方法を掲載していますのでご利用ください。

消防防災課

### 災害用伝言サービスの体験ができます。

体験利用提供日

- ・毎月1日、15日 0時～24時
- ・防災週間 (8月30日9時～9月5日17時)
- ・正月三が日 (1月1日0時～1月3日24時)
- ・防災とボランティア週間 (1月15日9時～1月21日17時)

※体験利用時においても災害運用時と同様に通話料・通信料が発生します。

### ■全国瞬時警報システムによる防災行政無線の試験放送を実施します

津波や武力攻撃等の災害時に全国瞬時警報システム (J-Alert (EART)) により国から送られてくる緊急情報を、防災行政無線で確実に市民の皆様へお伝えできるように試験放送を実施します。

なお、試験放送は、屋外スピーカーと戸別受信機で放送します。

また、試験放送のため、試験放送当日の午前11時半の時報 (成東・松尾・蓮沼地区) は放送され

ません。

日 時 9月11日 (水)

午前11時頃と午前11時半頃 (計 2回)

放送内容 「これは、試験放送です」×3回 + 「こちらは防災さんむです」 + チャイム

※試験当日は、山武市以外の自治体でも同様の試験放送が実施されます。

消防防災課防災係

☎ 1116

### ■防災行政無線の放送内容が電話で確認できます

防災行政無線の放送内容を音声応答サービスにより電話で確認することができます。

確認できる放送内容は、本サービスご利用時から24時間以内に放送された内容です。

(最大8件まで)

※ご利用には通話料がかかります。

○音声応答サービス番号

☎ (80) 0172 (24時間対応)

○音声直し等を行う場合

- ・メッセージ先頭に戻る #0
- ・前メッセージに戻る #1
- ・メッセージを聞き直す #2
- ・次メッセージへ進む #3

## 災害に備えましょう!

～汲み置き水のすすめ～



人間が生きてゆくためには、1人1日3リットルの水が必要といわれています。ご家庭で簡単にできる飲料水の備蓄方法として「汲み置き水」があります。

### ◆保存方法

「汲み置き水」は、密閉できる容器に口元いっぱいまで水を入れ、陽の当たらない涼しい所に保管してください。水道水には消毒のための塩素が含まれていますが、この塩素は、保管条件によりますが、1日～2日程度でなくなってしまいますので、2日に一度くらいで入れ替え、生活用水などにご利用をお願いします。

9月1日は、「防災の日」です。災害の備えを準備しよう!



水を大切に!

さんむいちゃん

山武郡市広域水道企業団では、災害によるお客様への影響を最小限にとどめるため、配水管や配水場などの主要施設の耐震化や緊急時の復旧体制に関係機関と協定を締結し災害に備えています。

山武郡市広域水道企業団 ☎ (55) 7851 (代)  
http://www.water-sansui-ki.jp/